

第 6 回地域福祉・福祉のまちづくり 総合計画区民懇談会

（平成27年2月27日（金）：午後6時01分～午後7時58分）

○座長 定刻となりましたので、ただ今から第6回地域福祉・福祉のまちづくり総合計画区民懇談会を開催いたします。

本日は、第1回から第5回までの会で皆様からいただいたご意見やご要望をまとめるための作業を行います。詳しい手順などは、後ほど事務局からご説明いたします。

今日のメインになる作業といたしましては、事前に送付いたしました資料の中の、特に資料4、懇談会意見まとめ（タタキ台）をもとにして皆様からのご意見をいただき、成案としてまとめていく作業になってございます。

今日も、皆様からのご意見を、一人でも多くの皆様から、また一つでも多くのご意見をいただくためにグループに分けさせていただいております。よろしく願いいたします。

それでは、まず最初に、お配りしております資料の確認を事務局よりいたしますので、よろしく願います。

○事務局 皆様、こんばんは。ひと・まちづくり推進係長でございます。

それでは、事前に送付した資料と本日お配りしました資料をご説明いたします。

初めに、前回の議事録でございます。こちらは資料番号なしということでお送りしております。

次に、資料1、グループごとのメンバー表。

資料2は、第1回から第5回までの懇談会の振り返り。

資料3が、アンケート調査の結果報告。

資料4が、懇談会意見まとめ（タタキ台）。

それから、別紙ということでご意見シート、色つきのものをお送りしています。

そして参考資料が二つ。

ここまでが事前にお送りした資料でございます。

本日、改めて次回の開催の通知と一緒にお送りしたものが2点ございます。

一つ目が、資料1の修正版、グループごとのメンバー表でございます。

それから、参考1のA3の横長になりますが、こちらが、一部修正がありますので、改めてお配りしているものでございます。

説明は以上です。

○座長 それでは、皆様、資料はおそろいでしょうか。

まず最初に、議事を始めるに当たりまして、1点ご確認させていただきます。

懇談会の記録作成のために写真を撮らせていただいております。

これまでも皆様にお話しさせていただいておりますが、計画改定後にマスコミ等に、その写真を発信する場合がございます。写真撮影が不都合な方は事前にお申し出ください。よろしいでしょうか。

（はい）

○座長 それでは、写真のことについては皆様のご了承をいただいたということで、これから会議に入ってまいります。

まず、第5回会議録、発言要旨の確認でございます。

会議録につきましては、既に皆様に、今回の資料とあわせて事前に送付しております。修正すべき箇所がございましたら、3月6日金曜日までに文書で事務局までご連絡いただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

次に、これまでの取り組みの報告でございますが、意見交換に入る前に、これまでの取り組みなどについて簡単に報告させていただきます。

○事務局 私からは資料2と資料3を説明いたします。

第1回目の9月30日から、毎月1回、皆様にお集まりいただきまして、この懇談会を行ってまいりました。

第1回目は、懇談会の目的や現行計画の確認を行いました。

そして、第2回目と第3回目、地域福祉の課題についてテーマを設けさせていただきました、お話をさせていただきました。

資料2の裏面をご覧ください。

第4回と第5回、この回は、福祉のまちづくりのテーマについて課題を示し、お話しいただきました。

そして今日、第6回と次回の第7回で、この区民懇談会の意見をまとめていきたいと考えております。

次に資料3です。

こちらは、皆様も含めまして、さまざまな方にアンケート調査のお願いをいたしました。

1ページ目に、その調査の目的や概要が書かれています。

1ページ目の下の方、どのような方々にこのアンケートをお願いしたのか書かせていただいております。民生委員の方や、相談情報ひろばの方を初め、各団体の方々に調査をお願いしまして、回収件数が686件で、お答えをいただいております。

以下、それぞれのアンケートのお答えについて、状況をまとめております。

5ページ以降が、それぞれのアンケートの結果を書いております。事前に皆様にお配りしておりますので、お目通しいただいていると思います。最後の方は、とても文章が多いのですが、こちらは自由意見も漏れなく載せさせていただきました。

この区民懇談会には、細かく全部載せましたけれども、実際これから計画を策定していく中では、いただいた自由意見なども含めて、ご意見を計画にエッセンスとして載せていきたいと思っています。

今日お配りしている資料4には、資料2と3、つまり、これまでのこの懇談会でいただいた意見とアンケートの調査結果を反映させていただいております。

説明は以上です。

○座長 ありがとうございました。

説明は以上ですが、何かご質問等はございますか。よろしいでしょうか。

それでは、本日の主要課題である区民懇談会の意見のまとめに入りたいと思います。

皆様、資料4「地域福祉・福祉のまちづくり総合計画区民懇談会意見まとめ」をご用意ください。

この資料は、皆様からいただいたご意見をもとに、事務局でまとめとして整理をしたタタキ台です。まだ細かいところまでは整理してございませんので、たくさんの中身が入っております。

あらかじめ皆さんにお読みいただき、事前にご意見等もまとめてきていただいておりますので、本日はこれをもとにグループ討議を行っていきたいと思います。

意見交換については、60分程度を予定しております。その後、各班から5分ずつの発表をお願いしたいと思っております。よろしくお願いいたします。

それでは、ここから先の進行はマヌ都市建築研究所をお願いしたいと思っております。

○マヌ 皆さん、こんばんは。今日もよろしくお願いいたします。

今、座長からお話がありましたが、皆さんとの話し合いを始める前に資料4の作り方の説明をさせてください。

全部で32ページですが、大きくは第2章が区民懇談会からの意見で、これまで5回にわたり各テーマごとに皆さんからいただいたご意見となります。

こちらとしましては、皆さんのご意見をできる限り漏れなく整理させていただいたつもりで作っております。今日は、それ一つ一つについて、例えば漏れないかとか、書き方の視点を変えられないかとか、具体的なご意見をいただきたいと思っております。

3番目「新計画のあり方への意見」が30ページになります。

ここは今日、特に皆さんからご意見をいただきたいと思っております。

これまで話し合いを進めてきた中で、計画を策定していくときの大切な視点としては、地域福祉とか福祉のまちづくりという分野ごとという枠を超えて、人の生活の流れでいろいろな取り組みを考えていかなければいけないのではないかということが、皆さんからいただいたご意見かと思っております。

31ページの①から⑥まで、これは人々の生活の流れを少し模式化して示してみたものです。

懇談会としては、この計画策定に関する視点というのを、こういった形でまとめられたというのは、このタタキ台の段階では一つの成果かと思っておりますので、特にそこのご意見もいただければと思います。

ページ数が多いので、皆さんに事前にご協力いただいて、意見をもう既に模造紙に貼っていますが、具体的な修正箇所を一つ一つ皆さんと確認していきたくと思っております。

今日は、地域福祉と福祉のまちづくりということで、皆さんに漏れなくご意見をいただきたいという趣旨のもとにグループ分けをさせていただきましたので、ぜひ忌憚のないご意見をいただければと思います。

皆さんとお話し合いをした後の進め方について、我々としても皆さんの修正意見をきちんと把握したいということで、我々が発表させていただきます。

今後のステップですが、今日いただいた修正のご意見を踏まえて持ち帰り、具体的な修正をこの資料4に加えた上で、また皆さんに事前に見ていただき、次の第7回懇談会でまとめに入るといった流れになります。よろしくお願いいたします。

6時15分になりますので、7時15分ぐらいをめどに、これからグループごとの話し合いに入っていきたいと思っております。

では、ここからスタートということで、各班でよろしくお願いいたします。

○マヌ かなりきめ細かくご意見いただいたので、時間が15分ほど延びてしまいましたが、ここから発表に入りたいと思っております。

では、A班から順番に、A、B、C、Dと、どんな修正のポイントがあったのかというのを簡潔に、進行役の私たちの方から説明をさせていただきます。

まずA班から発表をしていただきたいと思います。時間がちょっと押してしまったので、3分ぐらいで簡潔にいきましょう。

○マヌ A班は、課題1番から9番までありますが、途中8番のあたりで時間が切れまして、最後の新しい計画の話を中心にやらせていただきました。

前の方から順番に見ていきますと、最初は地域のきずなというところで、町会の話が非常にたくさん出てきます。

町会に対して、さらに多くの役割を期待しているところがありますが、実際として町会はかなり負担が大きい状況で、むしろ、その負担を認識した上で、地域の新たな担い手の方たちが、どうやって町会に主体的に関わっていくか、あるいは、町会と共同してそういう取り組みをしていくのか。

もう一つキーワードとして、町会に地域福祉のかかわりというところがはっきりとクローズアップされていない。そういったものをもう少しはっきり示していくべきではないかというお話をいただいています。

次に、地域福祉活動の活性化のところ、ここは交流の内容ですとか、そういったものを中心に書いてきています。現状で既に取り組みされている活動、例えば西・南大泉では地域活性化プログラムというものが実施されていますが、それとの関連性が見えてこないといったようなお話がありました。

それから、関係団体相互の連携の仕組みづくりのところでも、既にNPO活動支援センターがさまざまな交流事業をやっていますが、そういった記載がないというので、連携なども記載していく必要があるのではないかといただいています。

一番時間のかかったところが、災害時要援護者の部分です。ここは、結論から言いますと、災害時要援護者の仕組み自体が、行政側でまだ明確に示されていない部分もあるのではないかと。名簿の扱いにしる、それがちゃんと地域に落とし込まれていないとか、あるいは、その名簿がちゃんと活用できるような状況にないのではないかといただいています。

それを踏まえて、ほかのマンション管理組合とか地域の団体、あるいは、さまざまな地域活動をしているところでも、災害時要援護者をどういうふうに取り扱うのか。マンションの場合ですと、管理組合でもできているところとできていないところがあり、そういうところをもっと明確に、どうやったら災害時要援護者の仕組みが回っていくのかということを考えていく必要があるのではないかと、そういったご指摘もいただいています。

また、議論した言葉がそのまま出てしまっていて、主語、目的語、動詞、述語が入っていないため、非常にわかりにくいというお話をいただきました。

ここは改善していかないといけないところです。

それから、内容が重複している。ほかの項目に重複している内容がある場合は、それも整理が必要ではないかというお話をいただきました。

さらに、最後の「新計画のあり方への意見」が、ぱっと見でわからないというご意見をいただきました。

それは、今まで議論してきたものが、いきなりこういう形であらわれてきてしまった、

また、飛んでしまったところの背景というか、理由がよくわからなかったということがあったかと思います。

ヒントとしていただいたのが、区民、住民の主体性を意識して、それをサポートしていくための計画として、せっかく地域福祉計画と福祉のまちづくり計画を融合させるのであれば、その内容もしっかり一つ一つの計画を融合させたものとして、住民の主体性をメインにして書いていく必要があるのではないかと、こんな単純化できるものではないだろうというお話をいただきました。

あと、提案としては、次回にここの部分をもう少し議論できたらいいのではないかとこのお話をいただきました。

以上です。

○マヌ では、次にB班の発表に入りたいと思います。

○マヌ B班です。

また細かいことを話していくとすごく長くなりそうなので、ポイントだけ行きたいと思います。基本は、A班と同じような話がありました。

提案と言っているところや課題などに重複が多いのではないかとこのことがありますので、ニュアンスの近いものを固めていけないだろうか。また、31ページにある、この図がよくわからない。

色をつけたらわかるようになっている図を白黒でお配りしているので、さらにわからなかったというお話があり、そういう見せ方も含めて、お伝えの仕方も工夫が必要ではないかという話になりました。

あと、一つ一つの話で印象に残ったことでいきますと、例えば、町会の強化であるとか再生みたいな話があると、現時点でそこで頑張っている方、活動している方もいらっしゃるの、否定して「再生する」とか「強化する」というのは失礼になってしまうのではないかと。もっとその書き方に気をつけていくことが必要ではないかと。

あと、例えば、元気な高齢者を地域で応援するみたいなことではなくて、元気ではない人も、元気な人も、高齢者ではない人も、その地域の中で役割を持てるような地域づくりを目指した方がいいのではないかとこのお話もありました。

あと、もう一回31ページの話で言うと、いろいろな支援が書かれていますが、ここで活動されている皆さんからすると余りぴんとくる設定になっていないのではないかと。やはり、皆さんから見て、どんなストーリーがあって、どういうことがここにあると融合してよかったということになるのかをしっかりと見直し、考えなければならぬと思いました。

あと、Aグループでも出ましたが、たくさんの提案がそのまま書かれており、提案の言葉になっていないというものもあります。提案になっていないものや読んでいて意味が伝わりにくいものを絞り込んで整理してほしいという話がありました。また、例えば語尾とかを変えることで提案になるものもあれば、ただの意見みたいなものもあるので、それらをきちんと整理するようにとこの意見がありました。

以上です。

○マヌ ありがとうございます。

では、C班は私から発表させていただきます。

最初に話題に上がったのが、地域福祉に従事する人材や後継者の育成についてでした。

その中で、人材の育成や後継者の育成といったときに、例えばパワカレの卒業生の方とか、地域福祉に対していろいろな活動をしていらっしゃる方と、逆に、その活動をやりたいた方が一緒に活動できるような場づくりが必要ではないかというお話がありました。

定年退職者を生かすというようなお話でしたが、皆さんのグループで共通していたのは、高齢者を生かすとか町会を生かすとか、かなり対象を限定して応援するみたいな書き方に違和感を感じているように思いました。

ただ、その中で、定年退職者の方でいえば、地域福祉に関わらず、いろいろな得意分野を持っていらっしゃるのでも、そうしたところをきちんとこちら側も把握して、うまく地域活動や地域福祉活動に関われる機会をつくっていったらどうか。あとは、若い方、例えば高校の同窓会の四、五十代の方などは、いろいろと地域にかかわるというモチベーションを持っていらっしゃる方もいるかもしれないので、そういった方とも組むというのが一つあるのではないかというお話がありました。

もう一つ大切なことは、福祉のまちづくりの「ともに暮らせるやさしい空間をつくる」という13ページ以降のところでは、

駅や道路、そして建物について、車椅子の利用者の方にとって誘導ブロックの敷設の仕方、かなり移動しにくいという状況がまだまだ多い。

そういった中で、誘導ブロックが必要な方と、車椅子の方が一緒に移動できるような移動空間づくりというのをもっと考える必要がある。分かち合うという精神が、これからももっともっと意識していく必要があると言われました。

最後に、「新計画へのあり方の意見」で、番号で言うと4番、1、2、3、4、5、6とあって、4番が突然、「出かけた場所を簡単に見つけた」。そこが、1から6に行くときにボトルネックになっていて、つながりが見えないという話がありました。

あとは、最初に「自分に気づいてくれた」と書いていますが、「自分」という立場でストーリーを組むと利己的に見えるという話がありました。

ほかのグループと一緒に、ここはストーリーの組み立てをもう一度考え直さなければいけないと思いました。

以上になります。

では最後、D班お願いします。

○マヌ この「新計画のあり方への意見」というところについては、先ほどから出てきたお話とも重複するところもあるのですが、地域福祉とか福まち計画というのが、生活の流れの中で交互に出てきたり、混ざってくるというのは大変いいことなのではないかというお話がありました。例えば「自分の立場や思いを理解してくれた」とか、「仲間が広がるきっかけを得た」という表現は受け身な感じに見えるという話が出ておりました。

A班でも言われていましたが、住民の主体性があって、それをサポートするための計画づくりなのだということをちゃんと伝えていく必要があります、そういったことを感じられるものにしていく必要があるのではないかというようなお話がありました。

細かいところではいきますと、地域福祉の検討テーマについては町会の役割を強化すると書かれていますが、強化するという言葉は、ちょっと強過ぎるのではないか。上から目線ではないかというご意見もあり、例えば、これは「町会の活動を支援する」とい表現で、サポートするような流れにしていった方がいいのではないかというお話が出ておりました。

また、地域福祉活動の活性化というところで、「空き店舗をつどいの場として、商店街の活性化をしていこう」みたいなお話が出ていましたが、「つどいの場として商店街の活性化」は、もっと具体的なイメージを持てるようなものにした方がいいのではないかと。

また、情報の発信については、必要な情報が、必要な状態で、必要な人に届けるというお話がありましたが、こういったところでも、では実際にどうやって発信していくのか。発信者が発信したら、その後自らが出向いて実際にそれが届いているかどうかを確認できないと、なかなか難しいのではないかと。発信者もそうですが、情報の受け手というのも主体的に情報とつながっていこうとしないと、情報を得る関係ができないのではないかと。区民も含めて、相互にそういったことをやっていくことが重要なのではないかとというお話が出ておりました。

全体的に、行政側も、区民も、当事者の方も主体的にそれぞれがつながっていこうという努力が必要ではないかとというお話でした。

○マヌ ありがとうございます。

皆さん、短い時間でたくさんご意見をいただき、ありがとうございます。

次回に向けた簡単な修正のポイントだけ、私の方でメモをしたので確認させてください。大前提として、主語と述語が成り立っていないこと。今回、我々がすごく大切にしたのは、皆さんからいただいたたくさんご意見を、言葉一つ一つ思いがあるので、それをなるべくそのまま残すという形ではありました。

ただ、今回確認していただいて、懇談会として何が言いたいのかということをもとめる必要性を皆さんからいただきましたので、そこについては、修正していきたいと思えます。

今回、皆さんからいただいた意見で一番重要なことは、内容が重複していてポイントが見えづらくなっているところかなという気がしました。

各テーマで、重複しているところを少し整理するとわかりやすくなると思えましたので、その点も次回までに工夫したいと思えます。

あとは、私が修正の一番のポイントかと思ったのは、各テーマで既存の活動をしている方の、これまで担ってきた役割をきちんと把握した上で、さらに前に進めるためにはどうしたらいいかという思いが読み取れないということです。

町会さんに強化しようとか、誰々さんを頑張らせようみたいな表現が、皆さんの違和感の原因かなと思えました。また、印象に残ったのは、町会さんに地域福祉の活動テーマを持ってもらおうというよりは、これまで活動してきた中に、地域福祉活動という要素がたくさんあって、そこに焦点を当てて協力していこう、連携していこうといった方向性でまとめることが必要かと思えました。

もう一つ、大事なことは「新計画へのあり方の意見」

一番ずしんと来たのは、「ぱっと見てわからない」というところでした。

分野ごとに取り組むというよりは、その方が生活していく中で、いろいろなステップがあり、そこにきめ細かく福祉施策が対応していかなければいけないということかと我々では思っていたのですが、それがあの図からは読み取りづらいという話はとても大切です。どういうストーリーがあれば、皆さんとその感覚を共有できるかというのは、次回の大きな宿題かと思えました。

先ほどA班から、この「新計画へのあり方の意見」に少し議論する時間をとった方がい

いのではないかというお話もありましたので、次回のポイントになると思いました。

修正の仕方として、我々の班では、ある人の生活の流れというよりは、ある人がどんどん気づいていくような流れという整理もあるのではないかというお話がありました。また、言葉の使い方一つで、その生活のステップがイメージできないという話もありましたので、その辺を十分に考えさせていただいて、次回に納得していただけるように工夫していきたいと思えます。

感じたことをただらと言いましたが、ポイントとしては、重複して見えづらくなっているもののポイントを明確にするという話と、ある主体に強化するとか、そういうことではなくて、相互に関係し合うということが伝わる言葉にする。三つ目が、新計画のあり方という図、こういうフロー、イメージが、きちんとみんなが共有できるような言葉や、流れ、つくり方にする。

この三つに力を入れて修正をしていきたいと思えます。

こんな修正方針でよろしいでしょうか。

（拍手）

○マヌ では、私のまとめは以上とさせていただきますので、座長にバトンタッチします。

○座長 皆様、大変ありがとうございました。

かなり難しい条件で意見を言って、まとめていただくということでしたので、もっともっと意見を言いたいという思いを皆さんお持ちになっていらっしやっただと思えます。

今、マヌさんの方でまとめてくださいましたが、たくさんある意見の中で、皆さんが共通して感じたことが大分見えてきたと思えます。

計画をまとめる、意見をまとめるというのはなかなか難しい作業になりますが、皆さんがこれまで議論して、真剣に考えてくださったものを生かして、いよいよ来月は、この懇談会としては最終回になります。ぜひそこへ向けて我々もマヌさんともよく連携をとり、次回、まとめに入らせていただきたいと思います。本日は本当にありがとうございました。

それでは、最後に、次の開催日程について。本日、開催通知をお配りさせていただいております。

来月の最終回は、3月25日水曜日、午後6時から、本庁舎地下の多目的会議室になります。

ちょうど25日というのは小学校の卒業式です。皆様、地域の中で小学校のお祝いに行かれる方たちもいらっしゃるかもしれません。大変お忙しい中、恐縮ではございますが、よろしく願いいたします。

私どもも、今回のタタキ台をもう少しブラッシュアップしたものをお示しし、皆さんから最後にご意見を頂戴できればと思っております。

それでは、副座長から本日の感想、また、最終回に向けてということでご意見をいただきたいと思えます。

○副座長

Dのグループでしゃべってきたので、同じような話になってしまうかもしれませんが、一つは、福祉する側と、される側というのが、これを一緒にするというか、一緒に生きるものに変えていくという手だてはなかなか難しいです。行政が一定の何か方向性を出すなり、政策を出すべきだと僕は思っています。

それが一つと、もう一つは、当事者がもう少し出てこないとだめなのではないか。そうでないと多分変わりようがないかもしれない、そういう気がしました。

もう少し当事者の主体性も必要ですし、それから、当事者の主体性が出せないのは、今まで偏見や差別というものが結構あったという中で、言いづらいな、言えないなというような状況があったのだろうと僕は思っている。当事者がもう少し、地域でも、こういう場でもどんどん出ていって意見を言って変えていく、そういう仕組みを行政が作ってくれると楽なのですよ。

町内会は広過ぎて僕はだめだけれども、今日みたいに 8 人でしゃべっている、ああいうグループ討議の場をつくって、あれでお酒があれば、僕は文句がないのだけれども、そう思いました。

よろしくお願ひします。

○副座長 うちの班、A班でも、当事者の意見がもう少し出せる形がいのではないかとか、それから、当事者も自分の身になっていろいろわかっていく必要があるのではないかと。それがわかるようなことを、こちら側も出していかなければいけないのではないかというのが出ていました。

私自身は町会長と拠点連絡会会長だったので、今日は随分そのお話で私なりの意見を出させていただきました。

次は最終回でございます。さっきのまとめも、まとめる側が余りにもわかり過ぎてしまったまとめなのか、我々がわからなかったのかかわからないですが、プロとしてまとめていただくには、もう少し我々のことを考えて、一目瞭然でなくてもいいので、もうちょっとわかりやすいまとめをしていただきたいというのが全体としての意見です。

これだけでは、ちょっと違うよねという声が出ていましたので、次回はしっかりとそれに向けてお考えをまとめていただき、我々もまとめてこななければいけないと思っています。

よろしくお願ひいたします。

寒いですから、気をつけてください。

○座長 ありがとうございます。

たくさんのお宿題をいただきましたので、なかなか、どうしようかというところはありませんが、一方で、私たちの計画については平成27年度に引き継がれて、そこで計画としてまとまっています。皆さんもご存じのように、練馬区政は区長が変わり、新しいビジョンということで12月に素案をお示ししました。それが3月中に計画になります。

私たち福祉の分野でいいますと、高齢者の方たちの6期計画、介護保険制度が大きく変わる中で、高齢者の計画も、今、素案から案に向けてまとめる最終コーナーを回ったところですよ。

障害者の計画についても、同じく2月に素案を発表して、それぞれご意見をいただいて、これも3月中にまとめるということで、急ピッチでやっております。

そういったほかの分野別の計画、また、区にとっては最上位に位置する区政運営の新しいビジョンとの整合性ですとか、そういったところも当然見ながら、次に、私たちも皆さんに「よくまとまったね」と言われるようなものをお示しできるように頑張りたいと思いますので、よろしくお願ひします。

本日は本当にありがとうございました。

最後に事務局から連絡事項が何点かありますので、事務局から簡単によろしく申し上げます。

○事務局 ひと・まちづくり推進係です。

2点ほどございまして、謝礼の振り込みについては、2週間程度の予定でございますというのが1点目。

2点目が、先ほど座長からも申し上げましたが、次回は3月25日水曜日、午後6時から。地下の多目的会議室でございます。今日、開催通知をお配りしていますので、ご確認いただければと思います。

○座長 本日は、長時間にわたりありがとうございました。

日差しは大分春めいてきましたけれども、まだ夜になると相当冷え込んでいます。こういう季節の変わり目は体調にも不調を来しやすい時期ですので、ぜひ皆様、くれぐれもお体をご自愛ください。

そして3月25日、できるだけ欠席がなく、皆さんとお会いして、この半年ちょっとにわたる会をまとめていきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

本日は、どうもありがとうございました。